

1 児童生徒の学びをサポートするICT活用

(1) 主体的な学び

こんな実践

学校現場では、やらなければならないことがたくさんあります。児童と向き合う時間など、本当に時間をかけたいところへの時間を確保できるように、視聴覚機器を上手に利用していくと便利です。

実践学校 N小学校

実践学年 全学年

実践時期 通年

○ 日常的に視聴覚機器を利用する

大型テレビ・実物投影機は常備。いつでも活用します。



朝、パソコンをセット。いつでもパソコンを使える環境を作ります。

前時の板書をカメラでパシャリ。それをそのまま大型テレビに映して、前時を想起して授業をスタートさせます。

ノートをそのまま映して、児童が板書する時間を短縮。話し合う時間の確保につなげます。集中力も途切れません。



授業が終わっても、納得するまで話し合う為のツールとして使います。

カメラで児童の様々な取り組みを撮影して、大型テレビに映します。児童は俯瞰して自己を見返すことができ、心の成長につなげることができます。年度終わりに、1年間の成長や成果を振り返ったり、共有したりすることができます。



ここがポイント！

- ・児童の基礎学力の定着や向上、また、心の成長を願い、教師がより柔軟に教育環境をつくっていくためのツールのひとつが視聴覚機器です。